



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東・大  
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,660	△37.5	△1,193	—	△2,751	—	△2,006	—
24年3月期第2四半期	23,446	△6.9	2,264	△53.2	△1,034	—	△791	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △2,637百万円( —%) 24年3月期第2四半期 △1,566百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△58.61	—
24年3月期第2四半期	△22.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	103,693	81,163	78.1
24年3月期	106,863	84,167	78.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 80,970百万円 24年3月期 84,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	17.50	—	22.50	40.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において期末の配当予想額は未定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△8.9	0	—	△1,400	—	△1,300	—	△37.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	36,600,000株	24年3月期	36,600,000株
25年3月期2Q	2,370,704株	24年3月期	2,370,086株
25年3月期2Q	34,229,706株	24年3月期2Q	34,575,073株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報	10
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、欧州の債務問題が小康状態とはいえ、世界的な景気低迷は続いており、わが国においても海外経済の減速や円高の持続が輸出型企業の業績を圧迫し、景気の下振れリスクが高まっています。

このような経済情勢の中、当社のコア・ビジネスである横編機事業において、主力の中国市場では欧米向け輸出の減速や人件費コストの上昇で、輸出型ニットメーカーを中心に収益が悪化し、設備投資が冷え込みました。一方、欧州、ロシア向けの生産拠点である中東のトルコにおいては、中国の人件費高を背景に輸出競争力を高め、好調な内需も伴ってコンピュータ横編機の設備投資が拡大しました。また、ホールガーメント®横編機を活用した付加価値の高い消費地型生産の中心となるイタリアでは、主産地であるカルピ地区が5月に発生したイタリア北部地震の影響を受けたことや、金融市場の混乱もあり、設備投資は低調となりました。これらの結果、横編機事業の売上高は109億69百万円（前年同期比43.7%減）と落ち込みました。

デザインシステム関連事業においては、3次元バーチャルサンプルを活用し、製品企画から生産、流通に至るまでの大幅な時間とコストの短縮を可能とする「SDS-ONE APEX3」の販売が堅調だったことや、機種バリエーションを拡大したNC裁断機「P-CAM」がアパレル業界以外にも自動車内装部品、炭素繊維などの産業資材関連に販路が拡大したことで、売上高は12億63百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

手袋靴下編機事業は景気低迷を受けて最終製品の需要が減少し、設備投資が低調となったことで売上高は3億39百万円（前年同期比58.5%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間全体の売上高は146億60百万円（前年同期比37.5%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少に加えて、生産台数の減少などにより売上総利益率が低下したことで、営業損失11億93百万円（前年同期は営業利益22億64百万円）となりました。また営業外で為替差損20億57百万円が発生したことで経常損失は27億51百万円（前年同期は経常損失10億34百万円）、当第2四半期純損失は20億6百万円（前年同期は純損失7億91百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は前期末に比べ31億69百万円減少し、1,036億93百万円となりました。また自己資本の額は809億70百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて0.5ポイント低下し78.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動において売上債権の減少やたな卸資産の減少などにより19億79百万円の資金の増加（前年同期は16億64百万円の資金の減少）となりました。投資活動においては、定期預金などの期間3ヶ月超の資金運用に係る支出などにより27億27百万円の資金の減少（前年同期は7億55百万円の資金の増加）となりました。

また、財務活動においては短期借入による収入はありましたが、配当金の支払などにより1億26百万円の資金の減少（前年同期は7億17百万円の資金の減少）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は133億7百万円となり、前期末に比べて8億82百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月19日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

\*ホールガーメントは、株式会社島精機製作所の登録商標です。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,910	14,983
受取手形及び売掛金	29,857	26,812
有価証券	618	776
商品及び製品	14,362	12,814
仕掛品	720	619
原材料及び貯蔵品	5,802	6,281
その他	3,781	2,769
貸倒引当金	△2,561	△2,000
流動資産合計	67,491	63,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,124	5,871
土地	10,930	10,907
その他(純額)	3,885	3,726
有形固定資産合計	20,940	20,506
無形固定資産		
のれん	5,030	4,631
その他	121	112
無形固定資産合計	5,151	4,744
投資その他の資産		
投資有価証券	7,243	6,387
その他	7,456	10,422
貸倒引当金	△1,420	△1,424
投資その他の資産合計	13,279	15,386
固定資産合計	39,372	40,636
資産合計	106,863	103,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,294	3,849
短期借入金	5,701	6,599
1年内返済予定の長期借入金	3,000	700
未払法人税等	66	87
賞与引当金	737	737
債務保証損失引当金	702	704
その他	2,827	2,520
流動負債合計	17,330	15,199
固定負債		
長期借入金	1,500	3,700
退職給付引当金	1,318	1,258
役員退職慰労引当金	1,155	1,042
その他	1,391	1,330
固定負債合計	5,365	7,331
負債合計	22,695	22,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	66,303	63,903
自己株式	△6,889	△6,889
株主資本合計	95,998	93,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	△448
土地再評価差額金	△7,350	△7,350
為替換算調整勘定	△4,305	△4,828
その他の包括利益累計額合計	△11,995	△12,626
新株予約権	153	181
少数株主持分	11	12
純資産合計	84,167	81,163
負債純資産合計	106,863	103,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	23,446	14,660
売上原価	14,329	9,750
売上総利益	9,116	4,910
販売費及び一般管理費	6,851	6,103
営業利益又は営業損失(△)	2,264	△1,193
営業外収益		
受取利息	230	176
受取配当金	57	57
貸倒引当金戻入益	157	239
その他	119	131
営業外収益合計	564	604
営業外費用		
支払利息	10	38
為替差損	3,787	2,057
その他	66	66
営業外費用合計	3,864	2,162
経常損失(△)	△1,034	△2,751
特別損失		
有価証券評価損	—	185
減損損失	20	23
代理店解約損	112	—
投資有価証券評価損	38	—
固定資産除売却損	12	—
特別損失合計	185	208
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,219	△2,960
法人税、住民税及び事業税	253	20
法人税等調整額	△681	△974
法人税等合計	△428	△953
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△791	△2,006
少数株主利益	0	0
四半期純損失(△)	△791	△2,006



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△791	△2,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	△108
為替換算調整勘定	△708	△523
その他の包括利益合計	△775	△631
四半期包括利益	△1,566	△2,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,566	△2,637
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,219	△2,960
減価償却費	841	798
のれん償却額	167	169
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△139	△100
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	50	△113
受取利息及び受取配当金	△288	△233
支払利息	10	38
為替差損益(△は益)	2,445	478
有価証券評価損益(△は益)	—	185
減損損失	20	23
売上債権の増減額(△は増加)	△2,975	2,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	720	1,123
未収消費税等の増減額(△は増加)	78	181
その他流動資産の増減額(△は増加)	△627	258
仕入債務の増減額(△は減少)	374	△635
その他流動負債の増減額(△は減少)	△1,143	△250
その他	94	△30
小計	△1,588	1,704
利息及び配当金の受取額	286	234
利息の支払額	△10	△35
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△295	76
その他	△57	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,664	1,979
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△678	△3,237
定期預金の払戻による収入	579	641
有価証券の取得による支出	△199	—
有価証券の売却による収入	1,414	199
有形固定資産の取得による支出	△394	△283
有形固定資産の売却による収入	1	2
投資有価証券の取得による支出	△103	△4
投資有価証券の売却による収入	17	14
短期貸付金の純増減額(△は増加)	14	△11
その他	103	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	755	△2,727

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	900
長期借入れによる収入	—	2,200
長期借入金の返済による支出	—	△2,300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△112	△156
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△603	△769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△717	△126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,190	△429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,816	△1,304
現金及び現金同等物の期首残高	18,077	14,190
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	421
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,261	13,307

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,492	1,054	819	21,366	2,079	23,446
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	19,492	1,054	819	21,366	2,079	23,446
セグメント利益	4,391	168	163	4,723	26	4,750

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,723
「その他」の区分の利益	26
全社費用(注)	△2,485
四半期連結損益計算書の営業利益	2,264

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,969	1,263	339	12,572	2,088	14,660
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,969	1,263	339	12,572	2,088	14,660
セグメント利益又は損失(△)	1,106	180	23	1,310	△117	1,192

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,310
「その他」の区分の損失(△)	△117
全社費用(注)	△2,386
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,193

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機	6,544	39.1%
デザインシステム関連	1,146	107.8%
手袋靴下編機	383	45.9%
合計	8,074	43.3%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	9,639	77.3%	2,229	106.9%
デザインシステム関連	1,318	118.2%	246	127.7%
手袋靴下編機	282	27.9%	35	10.8%
合計	11,240	77.0%	2,511	96.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	10,969	56.3%
デザインシステム関連	1,263	119.8%
手袋靴下編機	339	41.5%
その他	2,088	100.4%
合計	14,660	62.5%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。